平成２６月１０月１日

下蒲刈小通信　海駅　第２０号

校長　富永　司

触れ合いを大切に

２学期には，地域や学校行事で多くの人との触れあう機会があります。身近な人との触れ合いは，子ども達にとって，心の成長に欠かすことができない大切な学習の場となります。学校・地域の行事や授業での交流はいつまでも子どもたちの心に残ります。その中で子どもたちが，がんばったことを高く評価してもらうと，この上ない喜びを受けることができ，成就感や達成感が高まり自尊感情も育成されます。

月に２回の保護者・地域の方による読み語り，警察の方から指導を受けた防犯教室，老人クラブの方にお世話になっているわらじ作り，歯科医・歯科衛生士による歯磨き指導，児童の登下校の安全を見守っていただける地域の方の登校指導，栄養士さんによる食育指導，大田先生の太鼓指導等子ども達と人との触れ合いが多くあります。周りの人の影響なく，一人だけで勉強しても健全に大きく心や脳が発達することが難しいことが研究されています。すなわち，人との交流や触れ合いが脳や心の成長に大切であるということです。多くの人と触れ合い，指導を受けたり，授業中，子ども同士で意見を交流し合ったりする活動はとても重要です。触れ合いが学校教育に生かされ，地域の人・文化・環境を誇りに思える教育を，これからも大切に取り組んでいきます。

「地域の祭り」

９月，１０月は秋祭りの季節です。下蒲刈でも秋祭りが盛んに行われています。昭和５６年に小学校社会科の資料として編纂・発行された「わたしたちの下蒲刈町」に記載されている「下蒲刈町の祭り」から３地域の祭りの様子をみることができます。今から３５年前に出版された資料ですが，「昔はかぐらの舞やすもう大会があったそうですが，いまでは，かぐらはなくなり･･･昭和になってからは，かぐらを受けついで舞う人がなくなって･･･」「遠くの町に出てはたらいている人たちも，たくさんふるさとにかえってきます。」といった記述があります。また，「おみこしもなく，なんの催しもない祭りでしたが，今から十年ほど前から，子どもみこしができて，にぎやかになりました。」といった記述もあり，なつかしく当時の下蒲刈の様子を振り返ることができました。その時代から３０数年経ったわけですが，地域の大きな行事として現在も大切に引き継がれています。時代の価値観は変わっていきますが，祭りの本質はいつまでも変わらぬ価値として伝統・文化として地域の人の心の中に引き継がれています。



三之瀬の祭り



大地蔵の祭



下島の祭り

昭和５６年当時の写真

10月に咲く花



さざんか



キンモクセイ



キク



ヒイラギモクセイ



ナワシログミ

わらじ作り交流会　９月２４日（水）

朝鮮通信使再現行列が行われるようになってから，小学生が，財団，老人クラブの皆様の協力により，わらじ作りを体験学習できるようになりました。

今年は，６年生７名がわらじ作りに挑戦しました。一人一人丁寧に指導をうけながら，わらじを完成していきました。また，老人クラブの皆さんの昔話を聞きながら温かく交流を進めることができました。下蒲刈老人クラブの皆様，財団の皆様協力ありがとうございました。













安芸灘大橋見学　９月 30 日（月）

晴天に恵まれ、６年生７名が安芸灘大橋の見学に行きました。道路公団の方から世界にある橋の種類の説明をしていただいたり，安芸灘大橋が完成するまでのビデオを鑑賞させていただいたり楽しく学習できました。その後，アンカレイジの中を見学して，主塔にあるエレベーター入り口まで歩いていきました。順番にエレベーターに乗り，塔頂まで登りました。絶好の晴天で，海も青く美しく輝いていました。子ども達にとって忘れられない大切な学習の場となりました。丁寧に準備から当日の説明をいただきました広島県道路公団の皆さんに感謝いたします。













道徳参観日　９月 26 日（金）

子ども達が，生命を大切にする心や他人を思いやる心，善悪の判断などの規範意識等の道徳性を身に付けることは，とても重要です。道徳の授業だけでなく，学校教育全体で行うのが道徳教育です。道徳参観日を通して，さらに道徳性を高めてもらいたいと願っています。















児童のがんばり

＜くらしの文集＞

特選

菅原　優斗くん（５年）

入選

實谷　大周くん（５年）

河原　春香さん（６年）

＜MOA 美術館呉児童作品展＞

優秀賞

柴村　英奈さん（６年）

＜呉市科学作品賞＞

入選

川路　彩加さん（６年）

入選

川路　尚哉くん（５年）

土しゃさいがい　悲しい出来事　わすれずに

九月二十一日　中国新聞朝刊

四年　森川　環さん

自まんの太鼓

呉市立下蒲刈小６年　河原　春香　記者



梶ケ浜のビーチフェスタがありました。毎年、小学生と中学生が一緒に清掃活動をしています。きれいになった砂浜をバックに、太鼓をひろうしました。

６年生は、中学１年生と一緒に「祭り太鼓」という曲を演奏しました。手にまめができるくらい練習してきた成果を見せることができるので、この日を楽しみにしていました。

わたしがたいたのは、しめ太鼓。たたき始める合図の「さつ」というかけ声の役もあり、緊張しましたが、うまくいきました。

姿勢、お客さまへの目線、大きな声に気をつけて、一生懸命みんなと心をひとつにしてたたきました。途中で降り始めた雨にも負けないくらい「やっさ、やっさ、やっさ、そーれそーれ」と盛り上げました。地域の方から拍手をもらいうれしかったです。

練習を通して今まで以上にみんなと絆を深めることができたと思いました。



大きなかけ声を出して盛り上げました

ちゅーピー子ども新聞（中国新聞）掲載　９月号

６年　河原　春香　さん